

平成 26 年度 妙高市生徒指導部 活動報告

部長 望月 正樹 妙高小学校

1 研究主題

情報教育・メディアコントロールの現状と課題について考える
～園・小・中・特別支援学校での取組から～

2 研究の概要

- (1) 事業計画の検討をする（第 1 回部会）
- (2) 研修を行い情報交換する。（第 2 回部会）
- (3) 外部講師による講演会を行い、質疑応答も含めて全員で中味を共有する。
(第 3 回部会)

3 研究の実際

- (1) 春の研修 4 月 23 日(水曜日)

- ①平成 26 年度妙高市教育研究会の組織及び事業の確認
- ②平成 26 年度重点部会生徒指導部会の捉え方の確認

- (2) 夏の研修 8 月 21 日(木曜日)



- ① 情報教育・メディアコントロールに対する、児童生徒のアンケート結果について ～経緯、経過、結果等についての説明～
- ② 上記に関しての質疑応答、意見交換、意見集約の実施 ～実際の部員の声から～
「小学生だといって、安心できる時代ではなくなってきました。ゲーム機を利用しながら、お互いが連絡を取り合うこともあるようなので、実態をつかむ必要があると強く感じました。」

- (3) 秋の研修会 11 月 4 日(火曜日)



- ①外部講師による講演会実施
講師：NTTドコモ企画総務担当 様
演題：「ケータイ安全教室」
- ②講演内容に関する質疑応答、意見交換の実施
～実際の部員の声から～

「WIFI スポットなどは子どもたちの方が、ゲーム機などを使用しながらよく把握している状況から、情報を交換する危険性も早期から指導していく必要を感じました。子どもだけでなく、保護者も現状を認識していないことが大いに予測されるので、機会を設けていく必要があると痛感しました。」

4 成果と課題

生徒指導部会を積み重ねる中で、子どもたちの実態や差し迫った課題が見えてきた。ネットトラブルやネット依存症から子どもたちを守るためには、具体的にどのような取組をしたらいいのかが見えてきた。

一方、職員の理解不足周知不足がかなりあることも明らかになってきた。職員が知らないということでは済まされないことでもあるし、そのために具体的な成果があがる研修会も開催しなければならない。さらに、子どもたちをネットトラブルや依存症から守り、情報モラルを高めるためには家庭との連携や家庭での指導が不可欠となる。保護者には趣旨を説明し、共に協力して取り組んでいくように要請していくつもりである。